

履修時期	2026年度前期	授業クラス	C	曜日	木	時限	I	単位数	2	時間数	30
科目名	国際航空貨物取扱士 運賃			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
現職JALカーゴサービス社員。輸出・輸入部門での実務経験があり、現在は教育部門として主に社内教育を担当。国際航空貨物取扱士資格保有											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
IATA公認テキスト/講師作成教材 国際航空貨物取扱士の取得				国際航空貨物取扱士の資格取得に向けて、航空貨物輸送に係る各規則やその背景などを学ぶことで、グランドハンドリングにも関わる知識を幅広く習得する							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 資格受験対策として、講義と練習問題の解答・解説を行う。授業では各自の習熟度を把握し、復習と練習問題に重点を置きながら理解をより深めていく。											
(授業形式) テキストの内容に従って講義を行い、その実践として練習問題に取り組む。											
(評価方法) 単元の終了ごとに行う筆記の確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。学期の終わりにD評価者に対して、再学習課題を与え合格基準(全問正解)であった場合に、P評価=単位認定とする。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月16日	オリエンテーション 航空貨物輸送の概要 国際航空貨物取扱士の資格について			<input type="checkbox"/> 授業形式と学習項目、評価基準を理解している <input type="checkbox"/> 航空貨物の概要を理解している <input type="checkbox"/> 輸出貨物/輸入貨物の流れを理解している						
2	4月23日	航空貨物輸送・航空貨物運送状			<input type="checkbox"/> 他の輸送モードと比較し、航空貨物の特徴を理解している <input type="checkbox"/> 航空貨物運送状の役割や種類・記載内容を理解している						
3	5月7日	スポーツデー									
4	5月14日	御殿場									
5	5月21日	御殿場									
6	5月28日	御殿場									
7	6月4日	御殿場									
8	6月11日	実重量と容積重量・端数処理・貨率適用重量の算出			<input type="checkbox"/> 貨率適用重量の概要を理解している <input type="checkbox"/> 長さ・重さの端数処理ができるようになる <input type="checkbox"/> 貨率適用重量を算出できるようになる						
9	6月18日	確認テスト①(30点) 貨率適用重量と端数処理の復習			<input type="checkbox"/> 貨率適用重量と端数処理の理解を深める <input type="checkbox"/> 貨率適用重量における容積の特徴を理解している						
10	6月25日	テスト返却① 一般貨物貨率(GCR)と最低料金による計算方法			<input type="checkbox"/> レート表の見方を理解している <input type="checkbox"/> レートの適用方法について理解している <input type="checkbox"/> 最低料金と一般貨物貨率のレートを活用して運賃計算ができる						
11	7月2日	特定品目貨率(SCR)の割り当てと計算方法			<input type="checkbox"/> レート表から特定貨物貨率を調べることができる <input type="checkbox"/> 品目番号から特定品目貨率が適用される品目を調べることができる <input type="checkbox"/> 特定品目貨率の運賃計算ができる						
12	7月9日	確認テスト②(40点) 特定品目貨率の復習と練習問題			<input type="checkbox"/> 特定品目貨率の運賃計算の理解を深める <input type="checkbox"/> 特定品目貨率の優先順位を理解している						
13	7月16日	テスト返却② 品目分類貨率(CCR)の割り当てと計算方法			<input type="checkbox"/> 品目分類貨率の概要を理解している <input type="checkbox"/> 適用される品目を理解している <input type="checkbox"/> レートを調べて、運賃計算をすることができる						
14	7月23日	確認テスト(30点) 品目分類貨率の復習と練習問題			<input type="checkbox"/> 品目分類貨率の運賃計算の理解を深める <input type="checkbox"/> 品目分類貨率の例外について理解している						
15	7月30日	テスト返却③ 従価料金の説明と計算方法			<input type="checkbox"/> 従価料金の概要を理解している <input type="checkbox"/> 従価料金に関する用語を理解している <input type="checkbox"/> 従価料金を算出することができる						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	C	曜日	木	時限	1	単位数	2	時間数	30
科目名	国際航空貨物取扱士 知識			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
現職JALカーゴサービス社員。輸出・輸入部門での実務経験があり、現在は教育部門として主に社内教育を担当。国際航空貨物取扱士資格保有											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
IATA公認テキスト/講師作成教材 国際航空貨物取扱士の取得				国際航空貨物取扱士の資格取得に向けて、航空貨物輸送に係る各規則やその背景などを学ぶことで、グランドハンドリングにも関わる知識を幅広く習得する							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 資格受験対策として、講義と練習問題の解答・解説を行う。授業では各自の習熟度を把握し、復習と練習問題に重点を置きながら理解をより深めていく。											
(授業形式) テキストの内容に従って講義を行い、その実践として練習問題に取り組む。											
(評価方法) 単元の終了ごとに行う筆記の確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。学期の終わりにD評価者に対して、再学習課題を与え合格基準(全問正解)であった場合に、P評価=単位認定とする。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標 (Can Doなど)					
1	4月16日	オリエンテーション 航空貨物輸送の概要 国際航空貨物取扱士の資格について			<input type="checkbox"/> 授業形式と学習項目、評価基準を理解している <input type="checkbox"/> 航空貨物の概要を理解している <input type="checkbox"/> 輸出貨物/輸入貨物の流れを理解している						
2	4月23日	IATAエリア・国/州/都市コード・サブエリアの調べ方			<input type="checkbox"/> IATAエリアを理解している <input type="checkbox"/> 国コード・サブエリアなどを調べることができる						
3	5月7日	スポーツデー									
4	5月14日	御殿場									
5	5月21日	御殿場									
6	5月28日	御殿場									
7	6月4日	御殿場									
8	6月11日	一都市複数空港の空港コード・時刻表・時差			<input type="checkbox"/> 一都市複数空港や州コードを調べることができる <input type="checkbox"/> 時刻表の見方の理解している <input type="checkbox"/> 都市間の時差を算出できるようになる						
9	6月18日	確認テスト①(30点) 飛行時間			<input type="checkbox"/> 時刻表を基に飛行時間を算出できる <input type="checkbox"/> 2パターンの算出方法を理解している						
10	6月25日	テスト返却① 時差算出方法と飛行時間の練習問題			<input type="checkbox"/> 時差算出と飛行時間の理解を深める						
11	7月2日	航空機について①			<input type="checkbox"/> 航空機のタイプと等級コードを理解している <input type="checkbox"/> 旅客機/貨物専用機の構造を理解している <input type="checkbox"/> Lower Deckの構造を理解している						
12	7月9日	確認テスト②(40点) 航空機について②			<input type="checkbox"/> タイダウンについて理解している <input type="checkbox"/> 航空機の重量について理解している <input type="checkbox"/> 航空機燃料の各種名称や搭載可能な量を計算することができる						
13	7月16日	テスト返却② ULDについて			<input type="checkbox"/> ULDの種類を理解している <input type="checkbox"/> 個体識別コードを調べることができる <input type="checkbox"/> 特殊コンテナの種類や特徴を理解している						
14	7月23日	確認テスト(30点) 受託時に特別な取扱い			<input type="checkbox"/> 航空貨物における特殊貨物の概要を理解している <input type="checkbox"/> 特殊貨物コードを理解している						
15	7月30日	テスト返却③ 国情報・空港情報を調べる			<input type="checkbox"/> 国・空港の詳細な情報を調べることができる						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	C	曜日	火	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	エアライン業界研究			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
国家資格キャリアコンサルタントであり、エアライン業界の就職担当6年の経験を活かし、航空各社の概要と就職活動に必要な知識を指導。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
講師作成のテキスト			航空会社の概要や取り組みを研究し、業界における会社の立ち位置を学ぶとともに、企業の比較を図ることで航空業界の知識向上を目指す。また、就職活動時に必要となる各自の考え方の整理や発言の練習の機会とし、意見の発信ができるスキルを習得する。								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 航空業界と各企業の特徴を理解・研究し、業界や航空会社への志望動機を明確にする力を身に着けます。											
(授業形式) 講義形式にてオリジナルテキストを使用し、解説。											
(教材) 講師作成のテキスト											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価者は単位を付与しない。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月15日	・オリエンテーション ・授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試			<input type="checkbox"/> 授業の形式と学習項目、評価基準を理解する <input type="checkbox"/> テスト概要について理解する <input type="checkbox"/> 各社を比較・研究する必要があるのかを理解する						
2	4月22日	・国内3レターコードについて			<input type="checkbox"/> 主要な3レターコードを正しく理解し、覚える <input type="checkbox"/> 3レターコードの活用場面と役割を理解する <input type="checkbox"/> 3レターコードを用いて業務を正確・迅速に行う力を身につける						
3	4月28日	・国内3レターコードについて ・FSC・MCC・LCCについて			<input type="checkbox"/> FSC・MCC・LCCの特徴と違いを理解する <input type="checkbox"/> 利用者のニーズや目的に合わせた航空会社の選び方を理解する <input type="checkbox"/> 航空会社の多様性を理解し、志望先や職種選びに活かす						
4	5月12日				GOTEMBA CAMP						
5	5月19日				GOTEMBA CAMP						
6	5月26日				GOTEMBA CAMP						
7	6月2日				GOTEMBA CAMP						
8	6月9日	・【確認テスト①】:3レター(40点) ・JALグループについて①			<input type="checkbox"/> 企業の特徴・業務内容を理解する <input type="checkbox"/> 企業の理念や経営ビジョンを理解する <input type="checkbox"/> 企業が求める人材像を理解し、自身の強みや適性と照らし合わせる						
9	6月16日	・JALグループについて②			<input type="checkbox"/> 企業の特徴・業務内容を理解する <input type="checkbox"/> 企業の理念や経営ビジョンを理解する <input type="checkbox"/> 企業が求める人材像を理解し、自身の強みや適性と照らし合わせる						
10	6月23日	・JALグループについて③ ・【確認テスト②】:レポート作成(20点)			<input type="checkbox"/> 企業の特徴・業務内容を理解する <input type="checkbox"/> 企業の理念や経営ビジョンを理解する <input type="checkbox"/> 企業が求める人材像を理解し、自身の強みや適性と照らし合わせる						
11	6月30日	・ANAグループについて①			<input type="checkbox"/> 企業の特徴・業務内容を理解する <input type="checkbox"/> 企業の理念や経営ビジョンを理解する <input type="checkbox"/> 企業が求める人材像を理解し、自身の強みや適性と照らし合わせる						
12	7月7日	・ANAグループについて②			<input type="checkbox"/> 企業の特徴・業務内容を理解する <input type="checkbox"/> 企業の理念や経営ビジョンを理解する <input type="checkbox"/> 企業が求める人材像を理解し、自身の強みや適性と照らし合わせる						
13	7月14日	・ANAグループについて③ ・【確認テスト③】:レポート作成(20点)			<input type="checkbox"/> 企業の特徴・業務内容を理解する <input type="checkbox"/> 企業の理念や経営ビジョンを理解する <input type="checkbox"/> 企業が求める人材像を理解し、自身の強みや適性と照らし合わせる						
14	7月21日	・スカイマークについて ・【確認テスト④】:レポート作成(20点)			<input type="checkbox"/> 企業の特徴・業務内容を理解する <input type="checkbox"/> 企業の理念や経営ビジョンを理解する <input type="checkbox"/> 企業が求める人材像を理解し、自身の強みや適性と照らし合わせる						
15	7月28日	成績フィードバック			<input type="checkbox"/> 前期成績のフィードバックを行う <input type="checkbox"/> 現段階での第一志望企業の選定と企業を選んだ理由を考える。						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	C	曜日	木	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	キャリアガイダンス			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
国家資格キャリアコンサルタント資格を取得し、観光業を希望する学生の就職支援を12年間経験。エアライン就職指導は6年経験。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
キャリアサポートセンターオリジナル教材にて実施			将来、自身が想い描くキャリアを描けるよう、これまでの経験を整理し、就職活動へ向けた準備を行う。また、「自分と向き合うこと」で、自身が大切にしている価値観に気づき、企業にアピールするべき自分の「強み」を認識し自己PRの作成に繋げる。またAI使用は自分の経験を整理・言語化するための補助ツールとして使用する								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 本授業は、就職活動および将来のキャリア形成に向けて、自己理解を深め、自身の強みや価値観を言語化することを目的とする。これまでの経験や出来事を振り返りながら整理・分析を行い、企業に伝えるべき自己PRを構築する。また、生成AIを補助的なツールとして活用し、文章構成や表現の改善を行うことで、論理的かつ説得力のある文章作成力を養う。授業後半では、文章だけでなくアピール動画の作成にも取り組み、実践的なアウトプットを通じて自己表現力の向上を図る											
(授業形式) 講師からの講義を受け、ワークシートを作成する。その後、実技等を通じ体感的理解に繋げる。											
(評価方法) 評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。ワークシート・課題提出、文章課題(自己PR)、授業参加姿勢、アピール動画より総合的に評価します。											
回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック	到達目標(Can Doなど)							
1	4月16日	オリエンテーション 就職活動スケジュール キャリアをデザインする、「働く」を考える	<input type="checkbox"/> 授業の形式と実施項目、評価基準を理解する <input type="checkbox"/> 就職活動の全体的なスケジュールを把握することができる【選考基準・学校推薦企業】 <input type="checkbox"/> キャリアをデザインするうえで必要な「自分を知る」、「社会を知る」を理解することができる								
2	4月23日	自己理解① 就職活動における経験の重要性 【★課題20点】	<input type="checkbox"/> 就職活動で必要となる「これまでの経験」を整理することができる <input type="checkbox"/> 「これからの経験」を想定し、今後の目標を設定することができる <input type="checkbox"/> 就職活動における情報収集の手段、整理の方法を学ぶことができる								
3	5月7日	スポーツデー									
4	5月14日	GOTEMBA ENGLISH CAMP									
5	5月21日	GOTEMBA ENGLISH CAMP									
6	5月28日	GOTEMBA ENGLISH CAMP									
7	6月4日	GOTEMBA ENGLISH CAMP									
8	6月11日	自己理解② 過去の経験を整理する 【課題ワークシート10点】	<input type="checkbox"/> 自己理解・分析の目的と進め方を理解する <input type="checkbox"/> 企業が求める自己PRを理解する <input type="checkbox"/> 成功経験/失敗体験など出来事を整理する								
9	6月18日	自己理解③ 過去の経験を整理する 【課題ワークシート10点】	<input type="checkbox"/> 影響を受けた他者、周囲の人間関係を整理することができる <input type="checkbox"/> 挑戦してよかったこと、今年度中に自ら挑戦しようと思っていることを整理する								
10	6月25日	自己理解④ 過去の経験の整理と強み	<input type="checkbox"/> 過去の経験をもとに、エピソードを「選出」し、自身の軸として確立することができる <input type="checkbox"/> 自身の軸と目指す業界との共通点を見つけ落とし込みをすることができる								
11	7月2日	設問トレーニング① 文章構成 【★課題ワークシート10点】	<input type="checkbox"/> 生成AI使用 コンテキストを使用し、プロンプトを入力し実施する <input type="checkbox"/> 設問に対し、論理的な文章を構築することができる <input type="checkbox"/> PREP法など簡単な文構成を学びセルフチェックが自身で行えるようになる。								
12	7月9日	設問トレーニング② 自己PR 【★必須 生成AI使用/チェッカー10点】	<input type="checkbox"/> 自己PRの基本構成・ポイントを把握することができる <input type="checkbox"/> 具体的な「行動」に焦点をあて、アピールポイント(人柄・性格)を整理することができる <input type="checkbox"/> 生成AIを使用した文章を、チェッカーにかけ使用率を確認し、使用限度を確認する								
13	7月16日	設問トレーニング③ 自己PR 【課題ワークシート 自己PR完成 20点】	<input type="checkbox"/> 自己PRの題材を選定しアピールポイントを整理・決定する <input type="checkbox"/> 具体的な行動における「場面・状況・課題・成長・変化」等を説明することができる <input type="checkbox"/> 自己PRの題材について指定文字数で説明することができる(200/300/400文字)文字数の要約をAIにて実施する								
14	7月23日	企業アプローチ インターンシップ準備と就活公欠ルール 身だしなみの重要性 【マイナビ登録確認】	<input type="checkbox"/> 字内における就活ルール、公欠ルール等を把握する <input type="checkbox"/> 就職活動に必要な書類を把握することができる <input type="checkbox"/> 履歴書・エントリーシートの役割や違いを学ぶことができる <input type="checkbox"/> 就職活動やインターンシップ選考など、身だしなみが与える第一印象の重要性を理解することができる								
15	7月30日	設問トレーニング⑤アピール動画の作成 【★必須・動画収録課題20点】 ※面談中にアピール動画の収録実施 成績フィードバック	<input type="checkbox"/> 自己アピール動画の作成手順を知ることができる <input type="checkbox"/> 指定課題に沿った、動画を収録することができる <input type="checkbox"/> 後期への課題を整理することができる								

履修時期	2026年度前期	授業クラス	C	曜日	月	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	ホスピタリティ研究			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
教材:PowerPoint、ロイロノート 自己学習法:学んだことを学校生活、アルバイト、企業実習先で実践する				①ホスピタリティの重要性を理解し、ホスピタリティに必要な5つの「力」を身につける ②様々な事例に対して対応できる力を身につける ③学内やアルバイト、企業実習先で、+αのホスピタリティ対応ができるようになる							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) ブライダル、エアライン、鉄道、ホテル、テーマパーク、クルーズなど、各業界の事例をもとに、ホスピタリティに必要な5つの「力」を学び、ホスピタリティの重要性を理解し、実践的なスキルを身につける。											
(授業形式) ホスピタリティに必要な5つの力について業界事例をもとに、自ら気づきを得るためのワーク、ディスカッション・実技形式を中心とした授業を展開する。											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価者は単位を付与しない。 レポート3回(15点・15点・40点)、実技1回(30点)											
回数	実施日	学習項目や学習概略				自己 チェック	到達目標 (Can Doなど)				
1	4月13日	・授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試 ・ホスピタリティとサービス ・ホスピタリティに必要な力「感知力・想像力」				<input type="checkbox"/> ホスピタリティとサービスの違いを理解した <input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「感知力・想像力」について理解した					
2	4月20日	・ホスピタリティに必要な力「感知力・想像力」 【確認テスト】レポート(15点)				<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「感知力・想像力」について理解した <input type="checkbox"/> ケーススタディにより「感知・想像」がより理解できるようになった					
3	4月27日	・ホスピタリティに必要な力「マインド」				<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「マインド」について理解した <input type="checkbox"/> 多様性・ダイバーシティについて理解した					
4	5月11日	御殿場									
5	5月18日	御殿場									
6	5月25日	御殿場									
7	6月1日	御殿場									
8	6月8日	・ホスピタリティに必要な力「マインド」 【確認テスト】レポート(15点)				<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「マインド」について理解した <input type="checkbox"/> セルフマネジメントについて理解した					
9	6月15日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」				<input type="checkbox"/> 様々な考え方や行動があることを理解した <input type="checkbox"/> 第一印象・表情・所作の重要性を理解した <input type="checkbox"/> 確認テスト:レポート提出					
10	6月22日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」				<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「マナー」について理解した <input type="checkbox"/> 言葉遣い・言葉の言い換え・価値語について理解した					
11	6月29日	「NCA特別授業」(3限ホスピタリティ研究なし)									
12	7月6日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」 【確認テスト】実技(30点)				<input type="checkbox"/> なぜマナーが重要かを理解した <input type="checkbox"/> 確認テスト:動画提出					
13	7月13日	・ホスピタリティに必要な力「コミュニケーション・知識」				<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「コミュニケーション・知識」について理解した <input type="checkbox"/> 質問力・褒め力について理解した					
14	7月27日	・ホスピタリティに必要な力「コミュニケーション・知識」 【確認テスト】筆記(40点)				<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「コミュニケーション・知識」について理解した <input type="checkbox"/> 確認テスト:レポート提出					

履修時期	2026年度前期	授業クラス	C	曜日	火	時限	1	単位数	2	時間数	30
科目名	ランプハンドリング演習			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
グランドハンドリング実務で培った現場の教訓を具体例として授業に組み込み、即戦力となるプロの意識と技術を養成します。□											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
教材:講師作成資料			グランドハンドリングの定義と基礎を学び、グランドハンドリング業務の基礎知識を習得する。また、航空機の到着・出発に関わる、グランドハンドリングの業務についての知識を習得し、多種多様な業務と使用機材、レターコードを理解する。								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 2年間を通してグランドハンドラーとして言葉遣いや所作など素養を身につけたうえで、現場のプロとしての高いスキルを習得することを目標とする。その中でも現場での実務をスムーズに実施するための聴き方、話し方などを含めた基礎を中心に学ぶ。											
(授業形式) 講師作成の資料を用いて講義したのち、その実践として練習問題や実技練習に各自取り組む。											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価対象者は単位を付与しない。											
回数	実施日	学習項目や学習概略				自己チェック	到達目標 (Can Doなど)				
1	4月14日	□オリエンテーション □授業ガイダンス □自己紹介				□授業の到達点、流れなどを確認する □授業の形式と学習項目、評価基準を理解する					
2	4月21日	□ランプハンドリング業務の概要と動き @A61,62教室				□ランプハンドリング業務の概要と全体の動きなどグラハンの基本について理解する					
3	4月28日	□航空業界用語(基礎:国内空港コード) @A64教室 □課題提出①:20点				□航空会社コードである2レターコードを覚える □ランプハンドリング業務の概要と動きについて確認テスト					
4	5月12日						御殿場				
5	5月19日						御殿場				
6	5月26日						御殿場				
7	6月2日						御殿場				
8	6月9日	□航空業界用語(基礎:国内空港コード) @A64教室				□国内空港コードである3レターコードを覚える					
9	6月16日	□GD① @A64教室 □「聴き方」・「話し方」・PREP法・GDについて □実践15分×1回、20分×1回 □課題提出②:10点				□グループディスカッションの概要と方法を理解する □話し方、聴き方のポイントを確認する(※自分の言葉で述べる) □自分の言葉で述べる □課題提出:「話し方」「聞き方」のポイントについて課題を提出する					
10	6月23日	□GD②(多様性について) @A64教室 □実践20分×2回実施 □実践20分+発表+補足+質問 □課題提出③:20点				□自分の意見を相手に伝えることができる □与えられたテーマについてディスカッションすることで話し方、聴き方を身につける □テーマについての見識を広げる □課題提出:多様性についての課題について提出する					
11	6月30日	□GD③ @A61,62,64教室				□自分の意見を相手に伝えることができる □与えられたテーマについてディスカッションすることで話し方、聴き方を身につける □テーマについての見識を広げる					
12	7月7日	□航空業界用語(基礎:国内空港コード)				□国内空港コードである3レターコードを覚える					
13	7月14日	□誘導業務概要 □課題提出④:20点				□航空機の誘導業務の概要を理解する □航空業界用語についての理解度テスト					
14	7月21日	□誘導業務(マーシャリング・翼端監視)				□マーシャリングと翼端監視業務を理解し規定指示を覚え実技スキルを習得する					
15	7月28日	□評価フィードバック □確認テスト⑤(筆記15点&実技15点)				□前期評価のフィードバックを受け、弱点や苦手部分を知る □誘導業務の概要についての筆記確認テスト&マーシャリング業務の実技確認テスト					

履修時期	2026年度前期	授業クラス	C	曜日	月	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	業界英会話			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
グランドハンドリング実務で培った現場の教訓を具体例として授業に組み込み、即戦力となるプロの意識と技術を養成します。□											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
教材:講師作成資料 自己学習法:自作英作文学習など				グランドハンドリング業務内において英語を使って働くことをイメージする。また、業務に必要な単語やフレーズを覚え、将来の活躍の幅を広げ、日々の生活の中でも使えるフレーズを習得し、日常の中に英語をより浸透させる。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) テキストをもとに、グランドハンドリング業務で想定される会話をリスニング問題演習(シャドーイング、ディクテーション)、リーディング問題(演習)形式でバランスよく学習する。											
(授業形式) 講師作成の資料を用いて講義したのち、その実践として練習問題に各自取り組む。											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価対象者は単位を付与しない。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月13日	□授業ガイダンス □航空業界用語について			□授業の形式と学習項目、評価基準を理解する □なぜ英語が必要なのかを理解する □航空業界における必要な英語用語を理解する						
2	4月20日	□航空業界用語について □航空機誘導業務について			□航空業界における必要な英語用語を覚える □航空機の誘導業務に関わる英会話を組み立てることができる						
3	4月27日	□振り返り □確認テスト①(35点満点) □航空業界用語について			□第2回の内容を振り返り理解を深める □航空機の誘導業務における英語の確認テスト □航空業界における必要な英語用語を覚える						
4	5月11日	御殿場									
5	5月18日	御殿場									
6	5月25日	御殿場									
7	6月1日	御殿場									
8	6月8日	□航空業界用語について □手荷物・貨物に関する業務における英語について			□航空業界における必要な英語用語を覚える □手荷物・貨物に関する業務に関わる英会話を組み立てることができる						
9	6月15日	□振り返り □確認テスト②(35点満点) □航空業界用語について			□第8回の内容を振り返り理解を深める □手荷物・貨物に関する業務における英語の確認テスト □航空業界における必要な英語用語を覚える						
10	6月22日	□航空業界用語について □搭乗橋(PBB)業務における英語について			□航空業界における必要な英語用語を覚える □搭乗橋(PBB)業務に関わる英会話を組み立てることができる						
11	6月29日	NCA Japan 特別授業									
12	7月6日	□振り返り □確認テスト③(30点満点) □航空業界用語について			□第10回までの内容を振り返り理解を深める □搭乗橋(PBB)業務における英語の確認テスト □航空業界における必要な英語用語を覚える						
13	7月13日	□航空業界用語について(トーナメント) □全体振り返り			□航空業界における必要な英語用語を覚え、トーナメント制でクラス一位を決定する □全体の振り返りを実施し知識の定着を図る						
14	7月27日	□評価フィードバック			□前期評価のフィードバックを受け、弱点や苦手部分を知る						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	C	曜日	木	時限	I	単位数	2	時間数	30
科目名	航空貨物概論			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
グランドハンドリング実務で培った現場の教訓を具体例として授業に組み込み、即戦力となるプロの意識と技術を養成します。□											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
教材:講師作成資料				航空貨物輸送の概要を知り、空港現場における貨物上屋業務全般の理解を深めることを目的とし、郵便・貨物の流れやポイントを理解し、貨物上屋業務を理解する。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 講義を中心に、カーゴハンドリングの知識と実技を習得し、グランドハンドリング業界における即戦力となるようにする。											
(授業形式) 講師作成の資料を用いて講義したのち、その実践として練習問題や実技練習に各自取り組む。											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価対象者は単位を付与しない。											
回数	実施日	学習項目や学習概略				自己 チェック	到達目標(Can Doなど)				
1	4月16日	□オリエンテーション □航空貨物業務の概要について				□授業の意義目的、シラバス、評価方法などを理解する □航空貨物業務の概要について理解する					
2	4月23日	□航空貨物業務の概要について □航空貨物業務の流れについて				□航空貨物業務の概要について理解する □航空貨物業務の流れについて理解する					
3	5月7日	スポーツデー									
4	5月14日	御殿場									
5	5月21日	御殿場									
6	5月28日	御殿場									
7	6月4日	御殿場									
8	6月11日	6/24水「NCA Japan 特別授業」に振り替え休講									
9	6月18日	6/24水「NCA Japan 特別授業」に振り替え休講									
10	6月25日	□確認テスト①(35点満点) □航空貨物業務の概要・流れの振り返り				□NCA Japanの特別授業に関するレポートの提出 □第1回~第2回で学んだことを復習する					
11	7月2日	□航空会社と荷送人の関係について □確認テスト②(30点満点)筆記				□貨物代理店と荷送人の関係性と貨物の予約について理解する □第1回~第2回の範囲で確認テストを実施する					
12	7月9日	□航空貨物の専門用語について				□航空貨物の専門用語について理解する					
13	7月16日	□航空貨物の専門用語について				□航空貨物の専門用語について理解する					
14	7月23日	□確認テスト③(35点満点)筆記				□第11回~第13回の範囲で確認テストを実施する					
15	7月30日	□評価フィードバック				□成績のフィードバックを実施する					

履修時期	2026年度前期	授業クラス	1EF	曜日	水	時限	3	単位数	2	時間数	←単位を入力
科目名	Conversational English			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
教材・自己学習法・目指せる資格など						授業のねらい、将来の活用例など					
Groupwork, speaking activities, Duolingo, & materials created by the Global Center						This class will prepare you to learn and practice English at this school. It will also give you more confidence to speak English.					
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) You will introduce yourself, make English goals, make a practice plan, and think about your learning.											
(授業形式) You will have conversations about yourself, your goals, and how to study English.											
(教材) Materials created by Global Center (available on LoiLoNote)											
(評価方法) Speaking Tests 4 x 25 points = 100 points											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標 (Can Doなど)					
1	4月15日	Introductions Day 1			<input type="checkbox"/>	Learn about your 2-year English Conversation program.					
					<input type="checkbox"/>	Learn the apps for English learning and practice.					
					<input type="checkbox"/>	Make a pre-learning video.					
2	4月22日	Introductions Day 2 Self-introduction Conversation Test (25 points)			<input type="checkbox"/>	Use new English greetings.					
					<input type="checkbox"/>	Introduce yourself and answer questions about your life.					
					<input type="checkbox"/>						
3	5月13日	Goals Day 1			<input type="checkbox"/>	Use new English greetings.					
					<input type="checkbox"/>	Discuss your future with English and make goals.					
					<input type="checkbox"/>						
4	5月20日	Goals Day 2 English Goals Conversation Test (25 points)			<input type="checkbox"/>	Have a conversation about your English Goals.					
					<input type="checkbox"/>						
					<input type="checkbox"/>						
5	5月27日	Learning English Day 1			<input type="checkbox"/>	Learn new English greetings.					
					<input type="checkbox"/>	Discuss Practicing English and how to learn new words & grammar.					
					<input type="checkbox"/>						
6	6月3日	Learning English Day 2 Practice Plan Presentation (25 points)			<input type="checkbox"/>	Make a practice plan.					
					<input type="checkbox"/>	Present your practice plan.					
					<input type="checkbox"/>						
7	6月10日	Hotel & Cruise Students: Gotemba English Camp International Airline & Hotel Students: Free Talk									
8	6月17日	Hotel & Cruise Students: Gotemba English Camp International Airline & Hotel Students: Free Talk									
9	6月24日	Hotel & Cruise Students: Gotemba English Camp International Airline & Hotel Students: Free Talk									
10	7月1日	Hotel & Cruise Students: Gotemba English Camp International Airline & Hotel Students: Free Talk									
11	7月8日	Reflections Day 1			<input type="checkbox"/>	Learn new English greetings.					
					<input type="checkbox"/>	Review what you learned this semester.					
					<input type="checkbox"/>						
12	7月15日	Reflections Day 2			<input type="checkbox"/>	Make a goal for next semester.					
					<input type="checkbox"/>	Practice for the interview test.					
					<input type="checkbox"/>						
13	7月22日	Reflection Interview Test (15 points)			<input type="checkbox"/>	Talk about what you learned this semester.					
					<input type="checkbox"/>	Talk about your goal for next semester.					
					<input type="checkbox"/>						
14	7月29日	Grades & Feedback Semester Storyboard			<input type="checkbox"/>	Make a storyboard about this semester.					
					<input type="checkbox"/>	Talk about your best memories this semester.					
					<input type="checkbox"/>	Make a post-learning video.					

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ITB	曜日	水	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	TOEIC L&R			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
CELTA(英語教授法資格)保持・大学院にて言語教育修士号取得。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
・Successful keys to the TOEIC listening and reading test			7月までにTOEIC 500点取得を目指す。GS/CA共に就職に向けて600点を年内または就職活動開始までに取得を目指す。								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											

(授業概要)

教科書 Successful keys to the TOEIC Listening and Reading test goal 500と過去問・単語テストを組み合わせTOEICの試験対策を行う。
IPテストは7/18と12/5 (もう一度10月に一回必修があります)

(授業形式)

TOEICを全体的にカバーできるよう、Listening とreading それぞれを組み合わせまんべんなく練習をする。前期はゆっくりシンプルなReadingを行うことによってlisteningのテストと合算した際の高得点獲得を目指す。

(評価方法)

筆記試験の口内書

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック	到達目標(Can Doなど)
1	4月15日	Lesson 1 self introduction TOEICについての解説	<input type="checkbox"/> Self introduction <input type="checkbox"/> TOEICの全体像について理解した(TOEIC Training との違い) <input type="checkbox"/> dictation と speed reading の練習	
2	4月22日	Lesson 2 : テキスト Unit 1 教科書Unit 1 単語フレーズ	<input type="checkbox"/> Unit 1 教科書の単語の確認をする <input type="checkbox"/> Part 5 の過去問に挑戦する <input type="checkbox"/> dictation と speed reading の練習	
3	5月13日			御殿場
4	5月20日			御殿場
5	5月27日			御殿場
6	6月3日			御殿場
7	6月10日	Lesson 3 教科書Unit 1 reading 来週のテスト対策	<input type="checkbox"/> Unit 1 reading part を攻略する <input type="checkbox"/> Part 7 の過去問に挑戦する <input type="checkbox"/> dictation と speed reading の練習	
8	6月17日	Lesson 4 テスト① Unit 1 単元テスト (30点)	<input type="checkbox"/> 教科書Unit 1の単元テストを行う(20分) <input type="checkbox"/> 教科書Unit 2の単語の確認 <input type="checkbox"/> dictation と speed reading の練習 <input type="checkbox"/> Part 5 Test 1 121-130	
9	6月24日	Lesson 5 テスト解説 教科書Unit 2 reading part	<input type="checkbox"/> テスト解説 (間違いが多かったところを重点的に) <input type="checkbox"/> 教科書Unit 2を進める <input type="checkbox"/> dictation と speed reading の練習	
10	7月1日	Lesson 6 テスト② Unit 2 単元テスト (30点)	<input type="checkbox"/> 教科書Unit 2の単元テストを行う(20分) <input type="checkbox"/> 教科書Unit 3 Listening と過去問 <input type="checkbox"/> dictation と speed reading の練習	
11	7月8日	Lesson 7 教科書Unit 3 Reading part	<input type="checkbox"/> テスト解説 <input type="checkbox"/> 教科書Unit 3 Reading <input type="checkbox"/> dictation と speed reading の練習	
12	7月15日	Lesson 8 7月18日のTOEIC IPに向けて過去問調整	<input type="checkbox"/> 過去問に挑戦する <input type="checkbox"/> テスト範囲の復習 <input type="checkbox"/> dictation と speed reading の練習	
13	7月22日	Lesson 9 テスト③ (40点)	<input type="checkbox"/> テスト③ <input type="checkbox"/> Unit 4 Listening <input type="checkbox"/> dictation と speed reading の練習	
14	7月29日	Lesson 10 Feedback ・前期の復習	<input type="checkbox"/> テスト解説(間違いが多かったところを重点的に) <input type="checkbox"/> TOEICIPの結果をもとに後期の目標を立てる <input type="checkbox"/> dictation と speed reading の練習	
15	#N/A		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ABC	曜日	金	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	エアライン・サービス論			必修・選択	必修	講師名			実務経験	有	
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
航空会社勤務の経験を活かし、将来につながる航空業界について幅広い視点からお話します。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
オリジナル教材				1. 航空会社の業務についての基礎知識を体得し、業務やサービスの多様性を理解できる。 2. 実務社会でも求められるチームワーク、コミュニケーションの重要性について意識・共感することができる。 3. 航空産業が求めるグローバル人材とは何かを理解できる。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 航空会社のサービスの基本である航空機の運航(オペレーション)に関わる業務内容を、顧客と接するサービスを提供する部門の仕事内容と併せ理解する。 ・労働主役産業の典型である航空産業が際立って有する特性は何かを学んで、産業としての課題を考える。 ・新興著しいLCCの戦略と既存FSCを比較して学び、多様化する服ニーズとその対応を考察する。											
(授業形式) 講義											
(評価方法) レポート提出・グループディスカッション											
回数	実施日	学習項目や学習概略				自己チェック	到達目標 (Can Doなど)				
1	4月10日	オリエンテーション(受講に係る心構え)				講義の目的、進め方、評価項目と方法 当科目終了後になりたい姿 公共の交通機関であるエアラインとは、そのサービスとは何か考える					
2	4月17日	航空運航業務の特性(航空運送業務の概要)				航空業界に関わる基本的な知識と現在の業界の状況、事業特性を学び、航空業界全体を理解する					
3	4月24日	エアラインの業務 お客様視点から見た、予約から到着までの流れと業務視点から見た流れ				利用する側から見た飛行機で旅をする視点とエアラインで業務を行うスタッフの視点で一連の流れを把握する オペレーションの6つの業務および飛行機を運航する上で欠かせないケータリング、機体清掃、給油などの業務を理解する					
4	5月8日	復習				ここまでの振り返りを実施し、理解する					
5	5月15日					御殿場イングリッシュキャンプ					
6	5月22日					御殿場イングリッシュキャンプ					
7	5月29日					御殿場イングリッシュキャンプ					
8	6月5日					御殿場イングリッシュキャンプ					
9	6月12日	エアラインの業務 ①客室乗務員				客室乗務員の仕事を理解する。サービス面だけではなく安全やマーケティング要員として求められる役割を理解する					
10	6月19日	エアラインの業務 I ②グラウンドハンドリング・貨物部門				空港で、お客様から見えない場面で業務を実施するオペレーションを支えるグラウンドハンドリング業務・お客様の手荷物と貨物の流れを理解する					
11	6月26日	エアラインの業務 I ③グラウンドスタッフ				空港の様々な場面において、お客様の旅のお手伝いをするグラウンドスタッフの業務を理解する(Lounge業務含む)					
12	7月3日	エアラインの業務 ④整備部門⑤運航乗務員				エアラインにとって最も重要な安全を支える運航乗務員、整備士の仕事を理解する。運航乗務員、整備士がお客様に対して提供するサービスとは何かについて考える。					
13	7月10日	エアラインの業務 ⑥運航管理(オペレーション・サポート)				・お客様と直接接する機会は少なく表には見えない存在ではあるが、運航を支える運航管理業務を理解する ・業務の主軸である安全性・定時性・効率性、快適性へのこだわりのポイントを理解し、こだわりを実現するために関わりの深いケータリング、機体清掃、給油などの業務との関係性を理解する					
14	7月17日	第1回目テスト :グループディスカッション :レポートを含む筆記試験				グループで意見を出し合って疑問点を洗い出す。 筆記は、言葉の知識確認とレポート(第一志望と選択した理由を記載する) ①20分まとめ講義 ②20分 グループディスカッション ③10分 質疑 ④40分 筆記 40点					
15	7月24日	顧客満足度(CS) CSとは?CSとES、顧客満足を促す企業の使命				CSの意味を理解し、CSとESの関係、必要性を考える最終的にCSを追求する企業の使命を認識する					
16	7月31日	第2回目テスト :グループディスカッション :レポートを含む筆記試験				グループで意見を出し合って疑問点を洗い出す。 筆記は、言葉の知識確認とレポート(CSとESの相互関係について) ①20分まとめ講義 ②20分 グループディスカッション ③10分 質疑 ④40分 筆記 40点					

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ABC I	曜日	火	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	航空機概論			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
ANAのCAとしての実務経験や、インストラクター、管理職としての経験を活かし航空機について理解できるようサポートします。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
教材:講師作成資料				航空機の概要、機種別特性等を学びことで、一般的な航空機概論を理解し、航空の安全運航に関わる施設の知識などを習得する。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 講義を通して、業務にかかわる航空機の特性や識別能力を高め、即戦力として業界で活躍できる人材育成を目指す。											
(授業形式) 講師作成の資料を用いて講義したのち、その実践として練習問題に各自取り組む。											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価者は単位を付与しない。											
回数	実施日	学習項目や学習概略				自己チェック	到達目標(Can Doなど)				
1	4月14日	<input type="checkbox"/> オリエンテーション <input type="checkbox"/> 航空機一般について				<input type="checkbox"/> 授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試などを理解する <input type="checkbox"/> 航空に関する歴史・概要を理解する					
2	4月21日	<input type="checkbox"/> 航空機一般について <input type="checkbox"/> 航空機の空気力学と風洞について				<input type="checkbox"/> 航空機に飛行原理について理解する <input type="checkbox"/> 紙飛行機から空気の流れを理解する <input type="checkbox"/> いろいろな形の折り紙を活用し、物体の動きや流れを理解する					
3	4月28日	<input type="checkbox"/> 確認テスト①-1(15点満点)実技 <input type="checkbox"/> 確認テスト①-2(20点満点)筆記				<input type="checkbox"/> 工作を通して実技の確認テストを実施する(空気力学を応用し真直ぐに飛ばせるか) <input type="checkbox"/> 第1回~第2回の範囲で確認テストを実施する					
4	5月12日						御殿場				
5	5月19日						御殿場				
6	5月26日						御殿場				
7	6月2日						御殿場				
8	6月9日	<input type="checkbox"/> 航空機一般について				<input type="checkbox"/> 航空に関する概要・名称を理解する					
9	6月16日	<input type="checkbox"/> 民間航空機の種類について				<input type="checkbox"/> 機種別の特徴を理解する(ボーイング編)					
10	6月23日	<input type="checkbox"/> 民間航空機の種類について				<input type="checkbox"/> 機種別の特徴を理解する(エアバス編)					
11	6月30日	<input type="checkbox"/> 確認テスト②(30点満点)筆記				<input type="checkbox"/> 第8回~第10回の範囲で確認テストを実施する					
12	7月7日	<input type="checkbox"/> プロペラの理論について				<input type="checkbox"/> プロペラの理論について理解する <input type="checkbox"/> プロペラを自作し構造を理解する					
13	7月14日	<input type="checkbox"/> プロペラの理論について <input type="checkbox"/> 航空機力学と制御について				<input type="checkbox"/> プロペラを自作し構造を理解する <input type="checkbox"/> 航空機に働く力と運動方程式について理解する					
14	7月21日	<input type="checkbox"/> 確認テスト③-1(15点満点)実技(プロペラ) <input type="checkbox"/> 確認テスト③-2(20点満点)筆記				<input type="checkbox"/> 工作を通して実技の確認テストを実施する(プロペラを調整し真直ぐ上に飛ばせるか) <input type="checkbox"/> 第12回~第13回の範囲で確認テストを実施する					
15	7月28日	<input type="checkbox"/> 評価フィードバック				<input type="checkbox"/> 成績のフィードバックを実施する					

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ABC I	曜日	金	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	航空保安			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
客室乗務員・訓練インストラクターとして勤務した経験を活かし、即戦力となるような人財育成に努めます。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
航空業界に携わる準備(人間力形成)				①自己・他者・乗客の安全を確保する行動に必要な力を養う ②航空現場での危機状況を理解し、自分事として主体的に考えを持つことができる							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 航空業界の過去の事象を通して、さまざまな角度から物事をとらえ、社会人として必要な主体性や考える力を培っていく授業です。											
(授業形式) 講義、演習											
(教材) オリジナルテキスト											
(評価方法) レポート(20点×3回)、発表(20点×2回 発表はテスト扱いのため公欠以外の遅刻・欠席は点数付与不可)											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月10日	オリエンテーション			<input type="checkbox"/> この授業の目的・必要性を理解できた <input type="checkbox"/> この授業の評価方法について理解できた						
2	4月17日	航空保安と安全・安心			<input type="checkbox"/> 航空業界に関わることは、「命につながる仕事に就くということ」が理解できた <input type="checkbox"/> 過去の事象から「事故を学ぶ意味」を考えられる						
3	4月24日	<考えるチカラ> US Airwaysの事故から			<input type="checkbox"/> この出来事の背景を知り、自分事にして置き換えることができる						
4	5月8日				<input type="checkbox"/> 「何のため」を考える力を身につけることができる <input type="checkbox"/> 学びをレポート(20点)にすることができる						
5	5月15日				御殿場イングリッシュキャンプ						
6	5月22日				御殿場イングリッシュキャンプ						
7	5月29日				御殿場イングリッシュキャンプ						
8	6月5日				御殿場イングリッシュキャンプ						
9	6月12日	復習と「考えるチカラ」を伸ばすワーク			<input type="checkbox"/> ここまでの学びを振り返り、実践できる						
10	6月19日	<言葉にするチカラ> 御巣鷹山の事故から			<input type="checkbox"/> この出来事の背景を知り、自分事にして置き換えることができる						
11	6月26日				<input type="checkbox"/> 立場に関わらず、考えを言葉にする力を身につける大切さを知ることができた <input type="checkbox"/> 学びをレポート(20点)にすることができる						
12	7月3日	グループワーク・発表			<input type="checkbox"/> 周囲と協力し合いながら、自分の意見を持ち、伝えることができる <input type="checkbox"/> 発表 20点						
13	7月10日	<感情と行動をコントロールするチカラ> ハイジャック事故から			<input type="checkbox"/> この出来事の背景を知り、自分事にして置き換えることができる <input type="checkbox"/> 感情に飲み込まれる前に心を整えるステップを決めることができた						
14	7月17日				<input type="checkbox"/> 感情をコントロールし、冷静な行動につなげる力を身につける大切さを知ることができた <input type="checkbox"/> 学びをレポート(20点)にすることができる						
15	7月24日	グループワーク・発表			<input type="checkbox"/> 周囲と協力し合いながら、自分の意見を持ち、伝えることができる <input type="checkbox"/> 発表 20点						
16	7月31日	FB			<input type="checkbox"/> 授業での学びを改めて振り返ることができる						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ABC I	曜日	火	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	就職筆記試験対策			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
教員免許を取得し、中学・高校受験者の家庭教師を2年間、また高校での教職を5年間経験、本学では筆記試験やSPI対策の指導を実施中。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
就職筆記試験対策(言語分野・非言語分野) 講師作成の資料				航空会社の就職採用試験で広く一般的に行われる、筆記試験やSPI試験の対策を行い、各企業が設けている合格基準に到達することが目標。おもにSPIの非言語分野を取り扱い、SPI試験を解くための算数や数学の基礎力と、それを活かしてSPIの頻出問題を解き、企業の採用試験突破を目標とする。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) おもにSPIの非言語分野の頻出問題を取り扱う。講義では、頻出問題の例題を解いたのちに解答解説を行うことで解答力を身につけ、その後は個人の理解力に応じて、テキストの練習問題や応用問題を解く。											
(授業形式) テキストを中心に必要に応じて講師が準備した練習問題などを解き、確認テストで知識の習得を確認する。											
(評価方法) 筆記の確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月14日	授業ガイダンス 就職筆記試験・SPI試験の概要 計算力・語彙力診断テスト(評価対象外)			<input type="checkbox"/> 授業形式と学習項目、評価基準を理解する <input type="checkbox"/> 就職筆記試験やSPI試験とは何なのかを理解する <input type="checkbox"/> 言語・非言語解答のための基礎力を確認する						
2	4月21日	算数の基礎:四則計算トレーニング 非言語分野:推論①「順序」「内訳」			<input type="checkbox"/> 整数・小数・分数の四則計算を早く正確に解く <input type="checkbox"/> 条件を整理し、図を用いて人物やモノの順序を正確に決定する <input type="checkbox"/> 複数条件を矛盾なく処理し、正しい構成を導く						
3	4月28日	算数の基礎:四則計算トレーニング 確認テスト:推論①20点			<input type="checkbox"/> 整数・小数・分数の四則計算を早く正確に解く <input type="checkbox"/> 推論「順序」「内訳」の理解度を測る						
4	5月12日	御殿場イングリッシュキャンプ									
5	5月19日	御殿場イングリッシュキャンプ									
6	5月26日	御殿場イングリッシュキャンプ									
7	6月2日	御殿場イングリッシュキャンプ									
8	6月9日	算数の基礎:Xを使った計算トレーニング 非言語分野:推論②「正誤」「平均」			<input type="checkbox"/> 一次式・一次方程式・文字式を早く正確に解く <input type="checkbox"/> 条件や記述の真偽を正確に判断し、整理して結論を導く <input type="checkbox"/> 与えられた情報を整理し、複数条件を組み合わせて論理的に結論を導く						
9	6月16日	算数の基礎:Xを使った計算トレーニング 非言語分野:推論③「人口密度」「濃度」			<input type="checkbox"/> 一次式・一次方程式・文字式を早く正確に解く <input type="checkbox"/> 人口密度の条件を整理し、面積と人口の関係を基に数量を矛盾なく推定する <input type="checkbox"/> 濃度と成分量の関係を整理し、条件に基づいて正確に計算する						
10	6月23日	確認テスト:推論②③30点 非言語分野:推論④「座席/位置」			<input type="checkbox"/> 推論「正誤」「平均」「人口密度」「濃度」の理解度を測る <input type="checkbox"/> 席順や位置関係の条件を整理し、図を用いて矛盾なく配置を推定する						
11	6月30日	算数の基礎:単位の換算、割合 非言語分野:推論⑤「対戦」「条件」			<input type="checkbox"/> 基準単位の大きさを理解し、大小の単位変換ができる <input type="checkbox"/> 対戦結果の条件を整理し、勝敗関係から矛盾なく順位や関係性を推定する <input type="checkbox"/> 与えられた条件を整理して活用し、求めた数値を算出する						
12	7月7日	算数の基礎:単位の換算、割合 確認テスト:推論④⑤20点			<input type="checkbox"/> 基準単位の大きさを理解し、大小の単位変換ができる <input type="checkbox"/> 推論「座席/位置」「対戦」「条件」の習熟度を測る						
13	7月14日	算数の基礎:単位の換算、割合 非言語分野:図表の読み取り			<input type="checkbox"/> 割合の基礎として、小数・歩合・百分率の変換ができる <input type="checkbox"/> 表の情報を正確に読み取り、整理して、必要な情報を抽出して問題解決する						
14	7月21日	算数の基礎:単位の換算、割合 非言語分野:図表の読み取り			<input type="checkbox"/> 割合の基礎として、小数・歩合・百分率の変換ができる <input type="checkbox"/> 表の情報を正確に読み取り、整理して、必要な情報を抽出して問題解決する						
15	7月28日	確認テスト:図表の読み取り30点 前期のまとめ			<input type="checkbox"/> 図表の読み取りの習熟度を確認する <input type="checkbox"/> 前期に学習したSPI頻出問題の再確認						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	ABCD I	曜日	金	時限	1	単位数	2	時間数	30
科目名	プレゼンテーションスキル			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
客室乗務員・訓練インストラクターとして勤務した経験を活かし、即戦力となるような人材育成に努めます。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
オリジナル教材にて実施				面接選考へ向け、面接官とのコミュニケーションを意識した会話力・表現力を習得する。 特に前期は「面接形式を用いたプレゼンテーション能力育成」を中心に、「回答瞬発力」を高めるため、想定質問を数多くこなし伝える意識を養う。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 本授業は、面接形式のトレーニングを通して、人前で自分の考えや経験を分かりやすく伝える自己プレゼンテーション能力を身につけることを目的とする。 表情・発声・姿勢といった非言語コミュニケーションから、質問に対する構成力・瞬発力まで段階的に実践を重ね、最終的に人前で自信を持って話せる力の定着を図る。											
(授業形式) 実技中心の演習形式で行う。個人発表、ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション等を実施し、必要に応じて動画撮影による振り返りを行う。											
(評価方法) 評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。D評価は単位付与なし。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月10日	授業概要説明 オリエンテーション 自己表現トレーニング①			<input type="checkbox"/> 表情トレーニング「笑顔づくり」を実践し、面接における表情管理の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 授業の到達目標、授業形式、評価方法を理解する <input type="checkbox"/> 就活面接で実施される「自己紹介」を実践・発表する<配点:5点>						
2	4月17日	自己表現トレーニング② 効果的な「自己紹介」 発表時達成目標:「笑顔」			<input type="checkbox"/> 表情トレーニング「笑顔づくり」を実践し、面接における表情管理の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 就職活動における「自己紹介」の違い・意味を理解し、実践できるようになる <input type="checkbox"/> 自己紹介内容を再構築し、改めて発表する<配点:15点>						
3	4月24日	自己表現トレーニング③ 指定課題:「専門学校志望理由」			<input type="checkbox"/> 言語トレーニング「発声や活舌」を実践し、面接における声の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 就職活動における質問課題、「専門学校志望理由」の原稿を作成し、述べるができる <input type="checkbox"/> 動画撮影を行う、自己紹介→専門学校志望理由(※必須) <配点:5点>						
4	5月8日	自己表現トレーニング④ 指定課題:「専門学校志望理由」 発表時達成目標:「声の大きさ」			<input type="checkbox"/> 言語トレーニング「発声や活舌」を実践し、面接における声の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 「専門学校志望理由」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する<配点:15点>						
5	5月15日	GOTEMBA ENGLISH CAMP									
6	5月22日	GOTEMBA ENGLISH CAMP									
7	5月29日	GOTEMBA ENGLISH CAMP									
8	6月5日	GOTEMBA ENGLISH CAMP									
9	6月12日	自己表現トレーニング⑤ 指定課題:「成功体験」と「失敗体験」			<input type="checkbox"/> 所作トレーニング「姿勢」を実践し、面接における姿勢の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 就職活動における質問課題、「成功体験・失敗体験」の原稿を作成し、述べるができる <配点:5点>						
10	6月19日	自己表現トレーニング⑥ 指定課題:「成功体験」と「失敗体験」 発表時達成目標:「姿勢(着席)」			<input type="checkbox"/> 所作トレーニング「姿勢」を実践し、面接における姿勢の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 「成功体験」「失敗体験」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する <配点:15点>						
11	6月26日	自己表現トレーニング⑦ 指定課題:「周りからどんな人と言われるか」			<input type="checkbox"/> 表情トレーニング「アイコンタクト」を実践し、対面における気配りを理解する <input type="checkbox"/> 周りから見た自分を客観的に認識し、自身の意外な一面や違いを整理することができる <input type="checkbox"/> 就職活動における質問課題、「周りからどんな人と言われるか」の原稿を作成し、述べるができる						
12	7月3日	自己表現トレーニング⑧ 指定課題:「周りからどんな人と言われるか」 発表時達成目標「アイコンタクト」			<input type="checkbox"/> 表情トレーニング「アイコンタクト」を実践し、対面における気配りを理解する <input type="checkbox"/> 「周りからどんな人と言われるか」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する <配点:15点>						
13	7月10日	自己表現トレーニング⑨ ※必須課題 指定課題:「授業当日発表」瞬発力向上			<input type="checkbox"/> アイスブレイク「雑談力」を上げる(2分トーク) ※テーマ・条件当日設定 <input type="checkbox"/> 質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる <配点:5点>						
14	7月17日	自己表現トレーニング⑩ ※必須課題 指定課題:「授業当日発表」瞬発力向上			<input type="checkbox"/> アイスブレイク「雑談力」を上げる(2分トーク) ※テーマ・条件当日設定 <input type="checkbox"/> 質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる <配点:5点>						
15	7月24日	自己表現トレーニング⑪ ※必須課題 指定課題:「授業当日発表」瞬発力向上 発表時達成目標:「学んだこと全て」			<input type="checkbox"/> アイスブレイク「伝達力」を上げる(2分トーク) ※テーマ・条件当日設定 <input type="checkbox"/> 面接における立ち振る舞い「笑顔・声・姿勢・アイコンタクト」など基本所作を理解する <input type="checkbox"/> 質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる <配点:10点>						
16	7月31日	成績フィードバック グルーptraining			<input type="checkbox"/> 前期成績のフィードバックを行うと共に、後期の目標設定を行う <input type="checkbox"/> 成長の度合いを確認する(動画撮影) 自己紹介→専門学校進学理由(※必須)						